

とにかくと思つてついに感謝もたう存する。この事で考がこの事が大たれ世切なれ誕こた何生と父をしだ母おな

たるの日々の生活が成り立つてちいものです。感謝が気持ちを持てちい

二・衆生（しゅじょう）の恩

「もろ人の 拝む心で 生かしあい
つくしあう 世に 常春の
花も薰らん うたわばや
我らの幸を 尽くさばや
すべての人」



「美しい海も緑も 青く輝く この星は
我等の幸のち 国ぐにも うたわばや
尽くさばや 世界平和に」

だでい日とれで結でさ辛が謝い ここき人毎もづあ少様の宅てし方ま常生よ
れすな々い現起果すらみ、がてつとのての日難いるしのもで話、はだにきうさまの教
も。あ感う実こが。には感必しらで世いこ、して仏すこ良仏を布、「示らに過の教
いも、謝仏のつあ物引、謝要まつよまちとを出でり事き同はかいらうせろ考忘の考
え方を來い、に起じ感？まと。現と少でとこ性ごれんえれ事る私はこよ謝とし取
すがし元はと質自みて、思氣あでに身のくに合るのでらつとい。わも法みなでいけ人
のや、まよき心だなせ良話るいいうば間に世つ周せうつのさにてし会のとまこ幸が
な界てりん。と中いかみ、にもいすとせどるを生の。何気に。仏る自出良う。をに

の質でべのてうの段のよしてたこい世的すて世い人方、「やき一とけくよになかをにま間の住食くるた人がな存もら指存すは力むべ考か！あると何もかも自分でも動なれるとと私たの、ん。私物くまもはがく移着。い頑張たが、すの、でとき動るでら張ちこ物。すこきいん手もも、つつくて

「とこしえに 大智慧の 法の灯を照らす
世にぞ輝く うたわばや 尽くさばや
我等の幸を 我が御仏に」



四・仏の教え（三宝）

な豊平こそりなうがか和ととのまと戦今るにがにが中すこ争現こし生感でで。ろが在、こと、ま謝き、こになでいれる日の生くたでしよ、きと々平ま平たずれそた思安和れ和ちう。世のらい心な、では界心、まし環暮、平が心すて境ら大日和周の。過、し変本にり中そご豊て豊とつをののすかおかい

◇合同慰靈祭・送り火のタベ報告



しをなうでたま新さ。きりしたいそな、よに「んく悲う。感とな謝謝時のは、三浦心て、清志思気ごい持めし記出ちんよ謝

昨年より始まりました、お盆「合同慰靈祭」、毎年恒例となつております、「送り火の夕べ」。今年は、皆さまと一緒に一緒に今年は、送り火の法話の際のご参拝を「送り火の夕べ」と名づけました。これからも、本当にありります。先祖様を大切にすることを継続します。



送り火のタベ（法話）



合同慰靈祭



送り火のタベ（お焚き上げ）

暮らしの中の仏教用語 「安心」

皆さんは、普段「あんしん」と読んでいると思いますが、仏教的には「あんじん」です。今時の使い方で「安心安全」でなどと使われたりしますが、これは生活上での安心ですね。仏教的には、佛さまの教えに触れ、実践することにより、一切の迷いのない心の状態を「あんじん」と申します。日々、仏さまと向き合い、安心で過ごしたいものです。

